

戦争の準備をすれば 戦争に 平和を望むなら 平和の準備を

定に抗議して、憲法を守る小矢部の会は1月16日朝、小矢部市本町交差点でスタンディングアピールをしました(写真)。

故・加藤周一さん(評論家)がかつて、「戦争の準備をすれば戦争の確率が高まる。平和を望みたら平和の準備をすべきだ」と述べていました。

小矢部平和委員会の堀内喜亨氏や日本共産党の上田由美子市議はASEANに学んで、戦争しない平和外交をと訴えました。



上田由美子市議がハンド
マイクで訴え

岸田政権の大軍拡、敵基地攻撃能力を保有するために、軍事費を2倍に増やすという閣議決

大軍拡ノ

不登校の子に寄り添って

谷口支部長は「学校以外の子どもたちの居場所づくり」を特に強調し、「旧おとぎの館を不登校児童生徒の居場所として活用できないか」と提案しました。土日は児童館としても使えるというのです。旧おとぎの館なら、不登校児童生徒など、困難をかかえている子どもたちの学習支援、居

また6年前に制定された「教育機会確保法」の内容と実際の実施を教育機関や関係者に周知することも求めました。

これは学校に行けない子を無理に学校に戻す必要がない、子どもにあった適切な場所を確保して「教育を受ける権利を保障

参加者の一人は「不登校の子どもが自己否定感に陥り、かわいそうな子が多くいることをわかって欲しい」と訴えました。

場所づくり、子ども食堂の開設など、多面的な活動を保障することが出来ます。おとぎの館ならすぐ近くで、パターゴルフもできて、外へ出て心を開放することもできると、その意義を強調しました。

子どもの居場所づくりに 旧おとぎの館を

「新婦人」が市長に予算要望



新日本婦人の会小矢部支部(谷口恭子支部長)は1月16日、桜井市長に新年度予算に取り入れて欲しいことを要望しました(写真)。上田由美子市議が同席しました。

谷口支部長から要望項目の全体を説明したあと、桜井市長は「限られた予算のなかであるが、なるべくご期待にこたえられるように検討していきたい」と述べました。

週刊
明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題
2023. 1. 22
通巻No. 1590
日本共産党
小矢部市委員会
市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を

市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
☎ 68-2146

参議院議員
井上さとし

前衆院議員
藤野保史
禁無断転載
複写配布

する」と法律で決められています。桜井市長は「しっかり検討したい」と答えました。

ジェンダー平等社会をめざして

ジェンダー平等社会をめざすことについて桜井市長は、女性管理職の登用が「現在28%で、できるだけ早く30%を目指したい」と述べました。また、生理用品を女子トイレや多目的トイレに配置することについても、「現実をしっかりと調査したい。トイレ配置がベストだと考えている」と述べました。

旧青少年ホーム跡地を緑の公園に

別の参加者は「青少年ホーム跡地を緑地として残して欲しい。外国では町の中に緑の公園がたくさんある」と要望しました。桜井市長は「地元地区の

食べものの安全を

食品の農薬被害を訴える方もいました。農薬に含まれるグリホサートで発症障害になるという話も紹介し、おやつ、ビスケットにも含まれており、市から国に農薬の規制について働きかけて欲しいと訴えました。映画「食の安全を守る人々」を見た方の感想から、

多人数学級支援講師の復活を

多人数学級支援講師の復活を求める声も出されました。学校の担任が決まらなくて困っている実情があり、病気や急な用事で授業ができない場合に、多人数学級支援講師なら担任に代わって授業ができること、学校現場の困難な実

小矢部市もこうした市民の声、現場の声をしっかりと受け止め、解決に向けて一歩前に踏み出すことが期待されています。

手書きのプラスタでアピール

